

◇ 「12月期のDI悪化」は

リーマンショック以来11年ぶり

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の147社。2位が「従業員の不足」の74社。「人材養成・確保」が68社で3位。
- ★ 「現在の雇用人員」について、139社（54.1%）が「適正」と回答したのに対し、「不足」は113社（44.0%）と依然として人手不足の状況である。「過剰」と回答したのはわずか5社（1.9%）。
- ★ 「消費税増税が事業所へもたらす影響」について、最も多かったのが「影響はない」で115社（44.4%）。「マイナスの影響があった」が99社（38.2%）で、「分からない」が45社（17.4%）。「プラスの影響があった」と回答した事業所はなかった。

令和元年10～12月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

令和2年1月に実施した第119回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が119回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は262社（小売業81社、卸売業30社、製造業34社、建設業58社、運輸・交通業17社、観光・サービス業42社）で回収率は52.4%。

【概況】

今期（10～12月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲12.6と、3ヶ月前の前回調査から2.8ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が2.3%、「やや好転」が18.0%で、逆に「やや悪化」が26.8%、「かなり悪化」が6.1%だった。売上D.Iも▲4.6から7.7ポイント悪化し▲12.3。採算D.Iも0.9ポイント悪化し▲19.3。原材料（商品）仕入価格は34.2から41.0と上昇傾向。

今回事業所に対し、「消費税率が10%になったことが、貴社へもたらす影響」について尋ねたところ、「影響はない」が44.4%（115社）で最多。「マイナスの影響があった」と回答したのは38.2%（99社）。マイナスの影響があった99社の理由は、「売上（受注）の減少」が最も多く59社（59.6%）。以下、「増税分を価格転嫁できない」が17社（17.2%）、「仕入れ価格の上昇」が14社（14.1%）と続く。「マイナス影響」より「影響はない」が数字的には上回ったが、10月～12月期に限ってみれば、7月～9月期よりも景況が悪化したのは、リーマンショック後すぐの平成20年以来11年ぶり。

また、消費者の立場で回答を依頼した「普段の支払い」については、「現金と一部キャッシュレス決済」34.5%（88人）、「キャッシュレス決済と一部現金」18.0%（46人）、「ほとんどキャッシュレス決済」5.1%（13人）を合わせ6割近くの57.6%（147人）が何らかのキャッシュレス決済を利用している結果となった。4割弱の38.0%（97人）は「ほとんど現金決済」と回答しているが、今後、顧客満足度向上や利用促進を図るにはキャッシュレス決済の導入が必要となってくると思われる。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI	（好転割合）－（悪化割合）
売上DI	（増加割合）－（減少割合）
採算DI	（好転割合）－（悪化割合）

業況は、全業種合計で今期▲12.6。業種別で改善したのは、製造業のみ。ただ、運輸・交通業（0.0）を含めると製造業（8.8）、建設業（6.9）と3業種でプラスの値。

売上は、全業種合計で今期▲12.3。業種別では業況同様、製造業のみ改善。ここでも製造業と運輸・交通業が（0.0）で、建設業（12.1）がプラスの値。建設業では、災害復旧工事による影響が大きいとの声が多い。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期41.0。サンプル数は少ないが、運輸・交通業で（16.7→52.9）大幅上昇をしており、原油価格の高騰が影響しているものと思われる。

採算は、全業種合計で今期▲19.3と0.9ポイント悪化。業種別では、卸売業、製造業、運輸・交通業の3業種で改善し、建設業は横ばい。改善したと回答した46社のうち、33社が「売上の増加」を挙げた。その他では「売上単価の上昇」や「販売費及び一般管理費の低下」など。

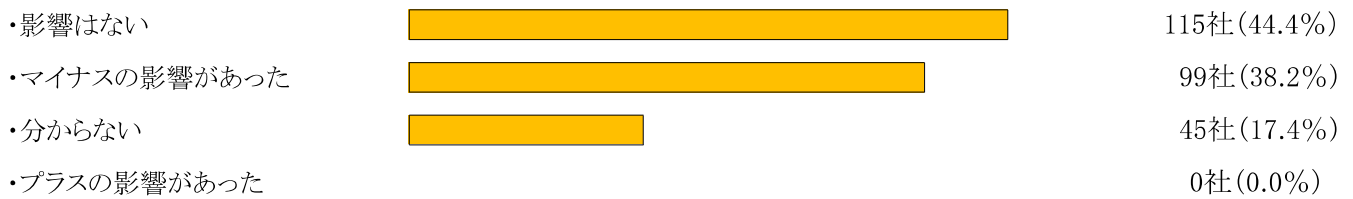
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【2019年10月1日から消費税率が10%(一部、軽減税率で8%)になりましたが、消費増税が貴社へもたらす影響は？】

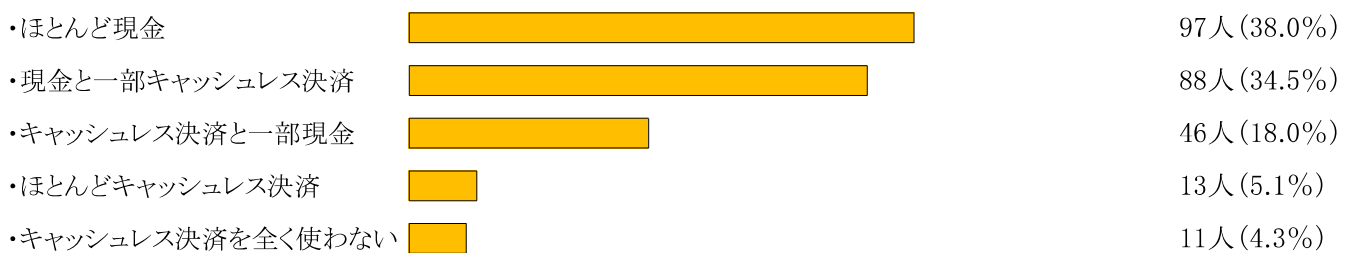


【上記質問で「マイナスの影響があった」と回答された方にお伺します。理由は何ですか？】



【消費者の立場でお答えください。】

ポイント還元事業でキャッシュレス決済の機会が増えたと思いますが、普段の支払いはどのようにされていますか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 12.6	▲ 28.3
小売業	▲ 28.4	▲ 32.9
卸売業	▲ 23.3	▲ 43.3
製造業	8.8	▲ 23.5
建設業	6.9	▲ 8.6
運輸・交通	0.0	▲ 5.9
サービス業	▲ 24.4	▲ 50.0

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 12.3	▲ 26.8
小売業	▲ 26.3	▲ 30.8
卸売業	▲ 33.3	▲ 50.0
製造業	0.0	▲ 23.5
建設業	12.1	▲ 10.5
運輸・交通	0.0	▲ 5.9
サービス業	▲ 19.5	▲ 36.8

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

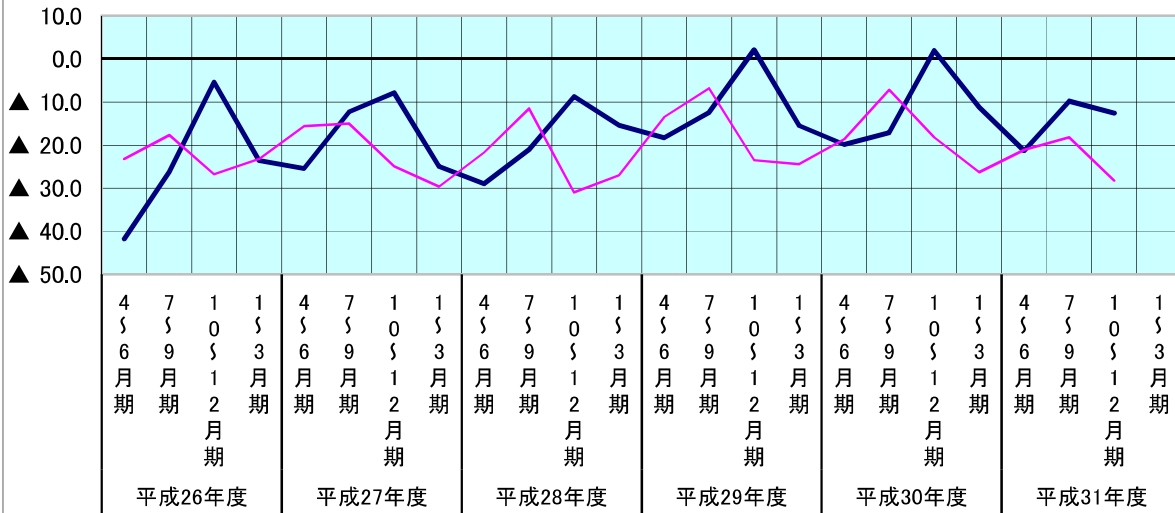
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 19.3	▲ 33.1
小売業	▲ 32.5	▲ 37.2
卸売業	▲ 30.0	▲ 43.3
製造業	▲ 14.7	▲ 32.4
建設業	0.0	▲ 14.0
運輸・交通	0.0	▲ 23.5
サービス業	▲ 24.4	▲ 50.0

(好転割合－悪化割合)

全業種

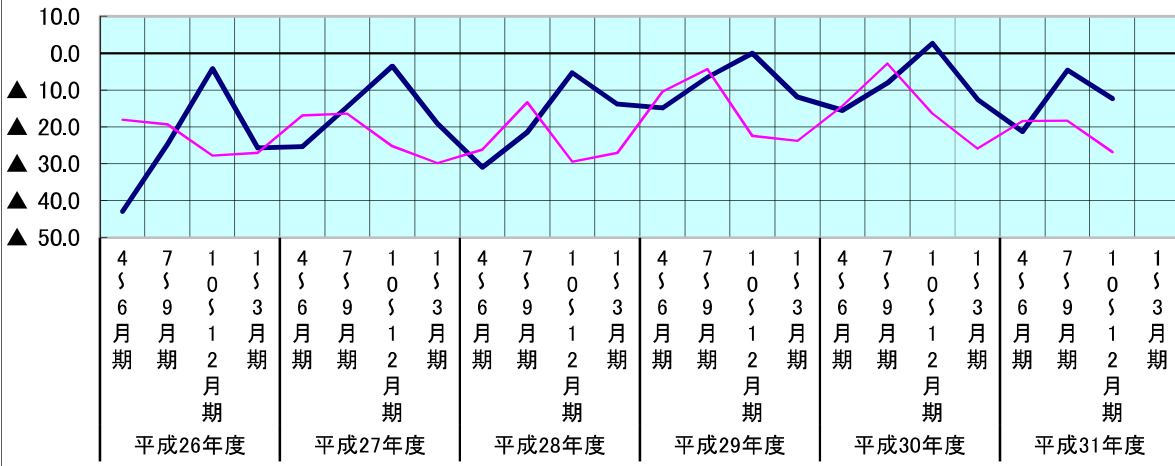
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



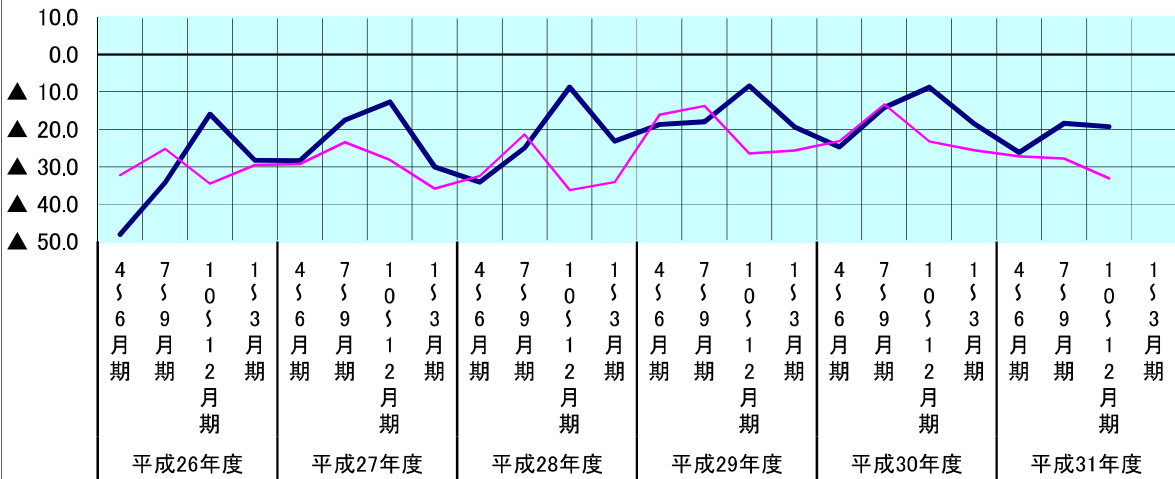
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し





































採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い